

チェックしましょう 認知症が疑われるサイン

以下のチェックリストを参考に「認知症かもしれない」というサインに早めに気づき、地域包括支援センターなどに相談しましょう。

認知症による変化は、本人よりも周囲の人が気づきやすいことも多いので、身近な家族などが一緒にチェックしましょう。



- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 直前にしたことや話したことを忘れてしまうようになった。 | <input type="checkbox"/> おしゃれや清潔感など身だしなみに気がつかわなくなった。 |
| <input type="checkbox"/> 同じことを何度も言ったり、聞いたり、したりするようになった。 | <input type="checkbox"/> 今まで好きだった趣味などへの興味や関心がなくなった。 |
| <input type="checkbox"/> 置き忘れやしまい忘れが増えて、いつも探しものをしている。 | <input type="checkbox"/> 外出したり、人と会ったりするのをおっくうがり、嫌がるようになった。 |
| <input type="checkbox"/> 知っているはずの人やものの名前が出てこなくなった。 | <input type="checkbox"/> 今までできていた家事、計算、運転などのミスが多くなった。 |
| <input type="checkbox"/> つじつまの合わない作り話をするようになった。 | <input type="checkbox"/> 日付や時間を間違えたり、慣れた道で迷ったりするようになった。 |
| <input type="checkbox"/> 以前にくらべ、ささいなことで怒りっぽくなった。 | <input type="checkbox"/> 財布が見当たらないときなど、盗まれたと人を疑うようになった。 |

認知症に対するご相談や詳しい内容につきましては下記までお問い合わせください。

鶴居村地域包括支援センター

〒085-1203

鶴居村鶴居西1丁目1番地
(鶴居村役場保健福祉課内)

電話：64-2999 (直通)

認知症の困りごと・心配ごとに対応

認知症 初期集中支援チーム をご存じですか？



認知症初期集中支援チームとは

認知症初期集中支援チームは、認知症の人や認知症の疑いのある人、その家族のもとに訪問して、認知症についての困りごとや心配ごとなどの相談に対応する、認知症の専門家たちによって構成されたチームです。

認知症は誰もがなる可能性のある病気であり、早めの対応が必要です。ひとりで抱え込まず、まずは地域包括支援センターなどにご相談ください。

すばやく集中的なサポートで、認知症の困りごと・心配ごとを解決します

認知症初期集中支援チームって どんなことをするの？

認知症の人やその家族に対して、認知症がどうか診断したり、適切な医療サービスや介護サービスを紹介したりするために、チーム員が自宅に訪問して一定期間（おおむね6か月以内）集中的に支援します。



対象となる人は？

40歳以上の自宅で生活している認知症の人や認知症が疑われる人で、

- ◎認知症の診断を受けていない人や治療を中断している人
- ◎適切な医療サービスや介護サービスを受けていない人
- ◎医療サービスや介護サービスを利用していても症状が悪化して対応に悩んでいる人

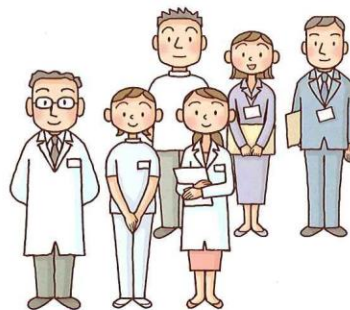
などが対象となります。



チーム員は どんな人たちのの？

医療、福祉、介護の専門家たちによって構成されています。

- 医師 ●保健師 ●看護師
- 作業療法士 ●歯科衛生士
- 精神保健福祉士 ●介護福祉士
- 社会福祉士
- 地域包括支援センター職員 など



どうして「早めの対応」が 必要なの？

認知症は、現在完治が難しい病気とされていますが、早期に発見して適切な対処をすれば、その人らしい充実した暮らしを続けることができるからです。

早期発見による3つのメリット

メリット
1

早期治療で改善も期待できる

認知症の原因になる病気がさまざまですが、早期に発見し早期に治療をはじめると、改善が期待できるものもあります。

メリット
2

進行を遅らせることができる

認知症の症状が悪化する前に適切な治療やサポートを行うことによって、その進行のスピードを遅らせることができる場合があります。

メリット
3

事前にさまざまな準備ができる

早期発見によって、症状が軽いうちに本人や家族が話し合い、今後の治療方針を決めたり、利用できる制度やサービスを調べたりする「認知症に向き合うための準備」を整えることができます。



相談から支援までの流れ

地域包括支援センター などに相談



初回家庭訪問

依頼を受けたチーム員2～3人で訪問します。

※その後も必要に応じて訪問



チーム員会議

適切な医療サービスや介護サービスを検討し、ケア方針を作成します。

- 専門医療機関の紹介
- 受診に向けた適切な方法
- 本人の状態に合った介護保険サービス

など



初期集中支援の実施



医療やケアマネジャー などへの引き継ぎ・支援



本人が受診を 拒むこともあります

「自分が認知症かもしれない」という不安はとても大きなものです。家族など周囲が受診をすすめても、本人が頑なに拒むこともあります。そんなときは、まずは家族だけで地域包括支援センターなどに相談し、アドバイスを受けることもできます。

